

安易な性癖

気弱悪魔メイド
イヨネ!!

・マイナ自信がなくて、オドオドして口ぐせが「すみません」だったりする
気弱で押しに弱いメイドさん。昔から仕えてくれているのを見る限り、決して要領が悪い訳

ではなく、むしろ有能だが本人のハードルが高いのか、コシでいいのかとこちらの様子うかがうフシがある。なので彼女にもっと自信をつけてもらおうと、僕は本当に良いメイドである事を伝え、自分の得意と
いうか、自分のコレ!! という武器を磨くとイヨネとアドバイスをしたら、彼女は

何かを決めた顔で「よし」とつぶやいていたから僕は安心していたんだ。そんなある日の夜、入浴を済ませ部屋でくつろいでいると、彼女が訪ねてきたんだ。何かの用事があるのかな?と部屋に通し、彼女にも楽にするように伝え、目の滑りを良くする為、トコナを取りまし、
彼女の分のお酒も注いであげよう、後ろを向いたその時、背中に圧倒的な存在感を放つ、
柔らかい理想郷か!!!
あまりのおどろきに固まっていると彼女はスリリ...と僕の体の前へと腕をまわし、
「旦那様、いつも私の顔を見ておられますね」と、目元で優しく囁いてきた。密着し、僕の目を潤ませた唇でくちゅ、手は肩の間にぬくぬく入り込ん

どこかで見たことあっても委員会

おっほい七モパン
この字眉
あ...あの...





精一杯っ…♡
ご奉仕、させて
頂きますね…♡

あっ
ああ…

はー♡
ふー♡

はあ♡
んっ♡

ぽろぽろ…
ぽろぽろ…

そっ…♡
それでは
旦那様あ…♡

嘘だろ…あんなに
奥手で大人しかった
彼女が…こんな顔して…

丁寧で愛情たっぷりの
ついでにむようなキス...

旦那様あ...♡

好き...♡

ちゅっ♡ちゅっ♡



好き♡

大好き
れす...♡

あああ...っ
焦らされるようで
もどかしいッ...

好き♡

好き...♡

ちゅっ♡ちゅっ♡

ちゅっ♡ちゅっ♡

大好きい...♡

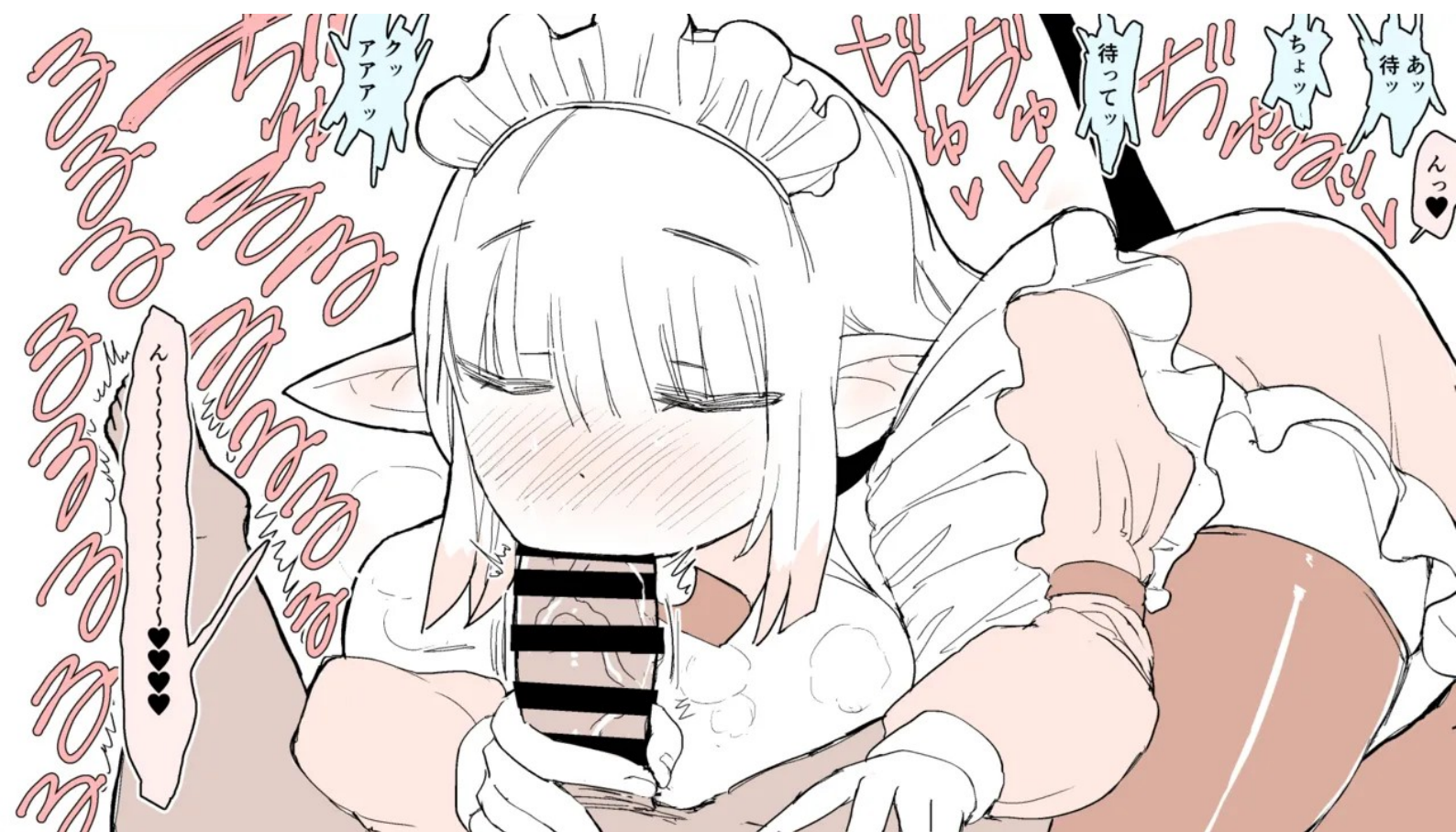


















じゅり...











ごちそうな
ました...

はー
はー

お恵み頂き...ハア...
ありがとうございます...

口の中で広がって...
舌に絡んで...
ぷるぷると弾力があって

とおっても濃厚で...
美味しかったです...

クソッ
発情しきった目で...
エロすぎるだろ...!!





安易な性癖

